



第20回卒業式

3月5日(日)、本校サングリーンホールにて、「第20回卒業式」が厳かに執り行われました。来賓、保護者をはじめ教職員、在校生に祝福され、万感の思いを胸に卒業生は学び舎を巣立ちました。

卒業生は今年度79名、延べ1,736名となりました。



学校長式辞



在校生送辞



最後のホームルーム



クラスの仲間と記念写真



卒業証書授与



感謝のメッセージ

美しい自然、生命、文化の宿る情緒豊かな奄美大島、この恵まれた環境の中にある私たちの学舎、奄美看護福祉専門学校の敷地に隣接する小湊フワガネク遺跡が国重要文化財の指定され、創立二十二周年を迎えた今日このよき日に、来賓の皆様に見守られ、このような厳粛かつ盛大な卒業式を挙げていただき、卒業生一同感動と感謝の気持ちで一杯です。

私たちが、看護、福祉、医療事務、調理とそれぞれが保健、医療、福祉、調理のスペシャリストを目指し、全国各地から幅広い年代の仲間とともに入学し自ら夢を叶えるために本日まで学業に励んで参りました。卒業というこの日を迎え、入学してから誠心誠意、勉学に励んだ日々を思い起こすと、知識や技術が身についたことを実感した時の喜びや、苦悩や葛藤を重ねた日々を懐かしく思います。

医療秘書学科では、医療事務、調剤事務、介護保険事務など様々な事務処理能力を身につけ、患者様とスタッフの架け橋となり接遇能力にも優れたエキスパートを目指して参りました。

調理師養成学科では、調理師としての専門知識や技術を学び、和食、洋食、中華料理のほか、奄美の郷土料理や菓膳料理に加え、菓子作りの技術を習得しました。

こども・かいご福祉学科では、乳幼児から高齢者まであらゆるライフサイクルに対応できる福祉のスペシャリストを目指し、日々、勉学に励んで参りました。保育士、幼稚園教諭資格を取得するために欠くことのできないピアノ技術に悪戦苦闘しました。また、ボランティアや子育て応援団を通して、地域の子どもたちとの交流を深め、保育や福祉の心を育み、人間的にも社会的にも大きく成長することができました。

看護学科では看護に必要な専門知識・技術を学びました。最後になりましたが、私たちが卒業という晴れの舞台に立つことができたのも各学科の先生方をはじめ、実習先の皆様、私たちの成長を応援してくださった方々、ともに支えてくれた仲間、そしてどんな時も温かく見守り背中を押してくれた家族のおかげです。心から感謝申し上げます。これから、本校で培った「建学の精神」を胸にそれぞれが自分の進む道のプロとして全力を尽くして社会に貢献していきたいと思っております。

卒業を迎えて「答辞」より(一部抜粋)
こども・かいご福祉学科卒業
大島高校出身)
太月 玲さん



それでは、学校法人日章学園 奄美看護福祉専門学校のますますのご発展と皆様のご健勝を心からお祈りし、卒業生代表の答辞とさせていただきます。

四月からは神奈川県での就職が決まり、看護師として働く予定です。親孝行するにはまだまだ大好きな家族に支えてもらいたいです。

私たち卒業生は、家族や応援していただいた周りの方々に感謝の気持ちを忘れず、それぞれの夢に向かって努力していきます。たくさんの愛情で支えていただき、ありがとうございました。

この三年間、たくさんの心配をかけ、経済的にも負担をかけました。何よりも愛情をたくさんいただきました、本当にありがとうございました。(中略)

お父さんへ
入学を決めたときも何も言わずに黙って送り出して、長期休暇のたびに楽しみにしてくれて、迎えてくれましたね。入学前は喧嘩をすることもありましたが、いつも大きな愛情で見守ってくれてありがとうございます。

何もない私を奄美に送り出すことは、とても不安でどれほど心配をかけたか分かりません。何があってもいつも笑顔でいてね」と送り出して、その言葉をかみしめて辛い実習も乗り越えていきました。朝早くから電話をくれて、私の様子を伺い、心配しながら過ごしていたと思います。

家族へ感謝のことは
看護学科卒業
(三ツ高校出身)
喜屋武 梨穂さん



